

# CASBEE<sup>®</sup> 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版)2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)吹田市竹見台Ⅱ計画新築工	階数	地上10F
建設地	吹田市竹見台4丁目1番1(1部)	構造	RC造
用途地域	第一種中高層地域	平均居住人員	412 人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年8月 予定	評価の実施日	2014年3月15日
敷地面積	5,493 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社長谷工コーポレーション 山出翔太
建築面積	2,430 m <sup>2</sup>	確認日	2014年3月15日
延床面積	8,734 m <sup>2</sup>	確認者	株式会社長谷工コーポレーション 山出翔太

外観パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 91%  
③上記+②以外の 91%  
④上記+ 91%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 2.8

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.4

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地外周に緑地を確保している。	その他 特に無し。
Q1 室内環境	室内環境の向上を目指し、F☆☆☆☆建材を使用している。	Q3 室外環境(敷地内) エントランスアプローチや敷地の周りに緑地を敷き、良好な住環境の形成に配慮した。
LR1 エネルギー	太陽光発電を採用し、省エネに努めている。	LR3 敷地外環境 周辺環境への配慮に重点を置いている。
Q2 サービス性能	劣化対策等級3など、耐久性に優れた建物としている。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げ材が分別可能な施工方法を採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム

## 大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)吹田市竹見台Ⅱ計画新築工事		
	建設地	吹田市竹見台4丁目1番1(1部)		
	用途/区分	集合住宅		
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			4
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			対象外

### 【評価項目】

省エネルギー対策		① CO2削減			
		② 省エネ対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.3	3		
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	建物全体	3.0	4
			住戸・宿泊	3.0	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.5		
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.8		
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	—		
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	2.2		
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	—		
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価		
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2		
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0			
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0			
その他					
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項			
特に配慮した事項					